

## 平成22年度における契約状況のフォローアップ

平成23年8月  
国立大学法人東北大学

### 1. 平成18年度と平成22年度に締結した契約の状況

(単位: 件、百万円)

	平成18年度		平成22年度		比較増△減		見直し計画	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
競争入札等	( 50.7% ) 371	( 71.2% ) 19,629	( 53.9% ) 397	( 65.9% ) 17,248	( 7.0% ) 26	( -12.1% ) -2,381	( 52.6% ) 385	( 73.2% ) 20,164
企画競争・公募等	( 2.3% ) 17	( 0.7% ) 185	( 6.8% ) 50	( 13.6% ) 3,554	( 194.1% ) 33	( 1821.1% ) 3,369	( 2.5% ) 18	( 0.7% ) 201
競争性のある契約(小計)	( 53.0% ) 388	( 71.9% ) 19,814	( 60.7% ) 447	( 79.5% ) 20,802	( 15.2% ) 59	( 5.0% ) 988	( 55.1% ) 403	( 73.9% ) 20,365
競争性のない随意契約	( 47.0% ) 344	( 28.1% ) 7,736	( 39.3% ) 290	( 20.5% ) 5,374	( -15.7% ) -54	( -30.5% ) -2,362	( 44.9% ) 329	( 26.1% ) 7,185
合計	( 100.0% ) 732	( 100.0% ) 27,550	( 100.0% ) 737	( 100.0% ) 26,176	( 0.7% ) 5	( -5.0% ) -1,374	( 100.0% ) 732	( 100.0% ) 27,550

(注1) 「国立大学法人東北大学契約事務取扱細則」第40条第5号に定める少額随契(500万円以下)を除く案件を対象とする。

(注2) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、小計及び合計において一致しない場合がある。

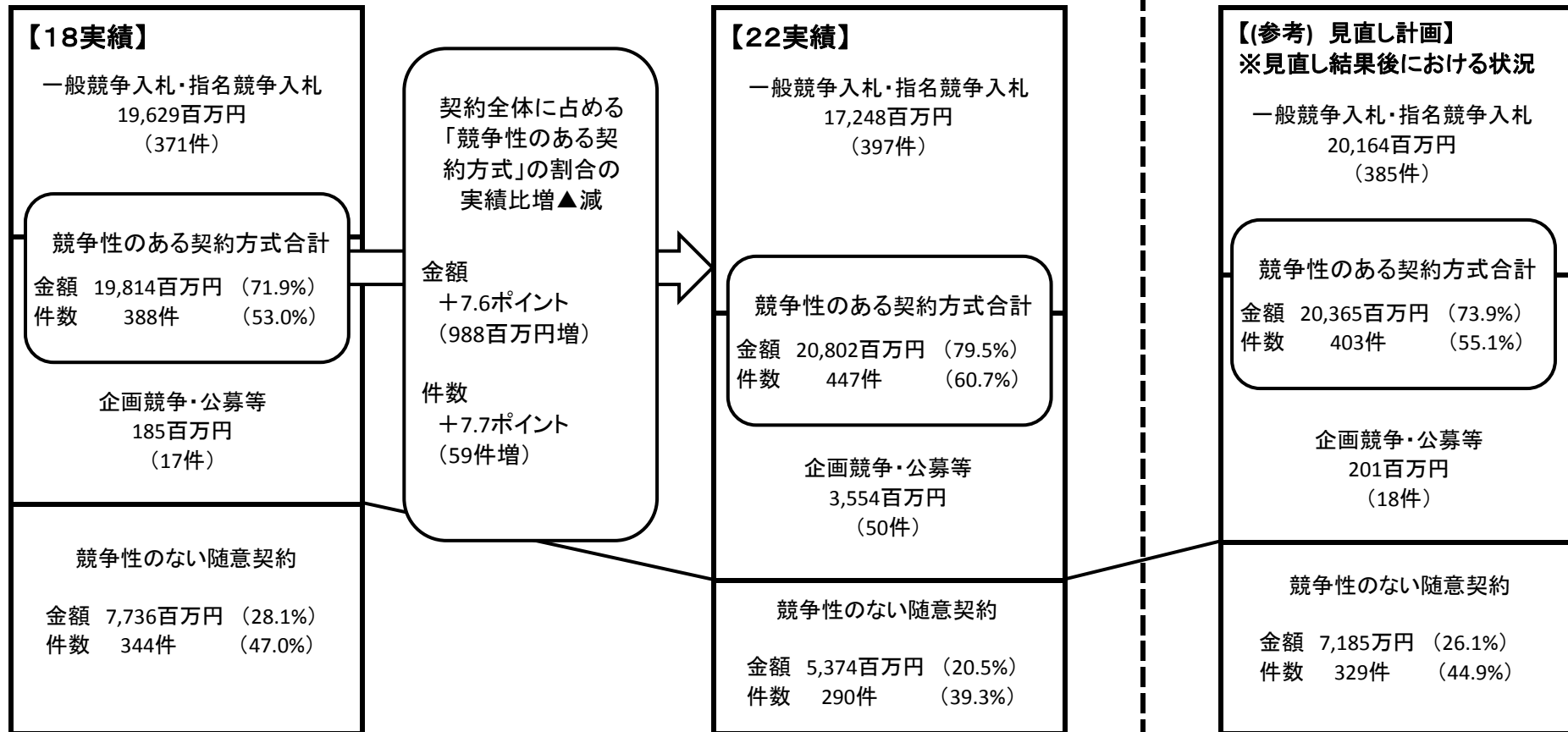
(注3) 比較増△減の( )書きは、平成22年度の対平成18年度伸率である。

(注4) 見直し計画の計数等は、「随意契約の適正化の一層の推進について(平成19年11月2日公共調達適正化に関する関係省庁連絡会議)」に基づき公表した見直し計画である。

(注5) 「企画競争・公募等」については、不落・不調随契、企画競争、公募及び見積合わせを実施したものである。

(注6) 見直し計画中、「企画競争・公募等」及び「競争性のない随意契約」については、事務・事業を取りやめたものを含む。

(参考) 図表 平成18年度と平成22年度に締結した契約の状況



(注1)「企画競争・公募等」は不落・不調随契、企画競争、公募及び見積合わせを実施したものである。

(注2) 図中の( )書は、当該年度における「競争性のある契約方式」又は「競争性のない随意契約」の契約全体に占める割合である。

2. 平成22年度において、随意契約から一般競争入札等、企画競争、公募に移行した主な契約

物品供給契約において、特定メーカーに係る案件を一般競争に移行 25百万円

### 3. 一者応札応募の改善状況

(単位:件、百万円)

		平成21年度		平成22年度		比較増△減	
2者以上	件数	267	( 36.6% )	155	( 34.7% )	-112	( -41.9% )
	金額	23,773	( 57.5% )	6,521	( 31.3% )	-17,252	( -72.6% )
1者以下	件数	463	( 63.4% )	292	( 65.3% )	-171	( -36.9% )
	金額	17,571	( 42.5% )	14,281	( 68.7% )	-3,290	( -18.7% )
合計	件数	730	( 100.0% )	447	( 100.0% )	-283	( -38.8% )
	金額	41,344	( 100.0% )	20,802	( 100.0% )	-20,542	( -49.7% )

(注1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注2) 合計欄は、競争契約(一般競争、指名競争、企画競争、公募、見積合わせ、不落・不調随契)を行った係数である。

(注3) 比較増△減の( )書きは、平成22年度の対平成21年度伸率である。

### 4. 一者応札、一者応募に係る改善方策(URL <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/keiyaku/kouhyou/index.html>)